

【六月】 お題「花」「小さいもの」「空」(一年生のみ)「地域探訪」

月間賞

梅雨晴れに小さな手が花を摘む両手いっぱい広がる色彩

二―二 工藤 瑚々

第二席

太陽に顔向け微笑む金の花描写する私はゴッホ気分

三―三 安倍 みらい

第三席

降る雨のビートに合わせて靴を鳴らせばそこが私のダンスホール
晴れた日の夕暮れ時に目を閉じる紅い空が私を包む
ぼんやりと見上げた空に白い雲じっと見下ろす見上げる私を

三―三 安倍 くるみ
三―三 千葉 果澄
三―三 荒木 舞優

優良賞

遠雷が雨を引き連れやってくる四季を彩る夏の一時

三―三 熊谷 快夢

佳作

髪の毛が湿気のせいで爆発だロックバンドのドラム担当
雨上がり道端に咲くつゆ草の雫輝き美しさ増す
雨が降りアジサイにつく水滴が景色を写す鏡のように
悩み事一回ねれば忘れてるよく考えれば小さいものだ
空見上げれば雲なき日下を見れば陽でひかる川空をうつす
青空と躑の花の紅色が生み出す自然のコントラスト

一―二 鈴木 璃音
一―二 高橋 逢惟梨
二―一 北村 夢生
二―一 古内 釉
二―二 佐々木 蒼太
三―三 三浦 明音

入選

ぼつぼつと空から雨がふってくるそれがキラキラ星のよう
雨のあと道路にかがみがあらわれて空と自分がひかかってうつる
六月のあなたも空も不安定今日も晴れるとつるされ願う
蒼の空風に吹かれる黄色の絨毯夏から来た魔法の送り物
梅雨の時期小さなものがぼつぼつと輝きながら地面に落ちる
梅雨晴れに小さな手が花を摘む両手いっぱい広がる色彩
窓越しに見上げた先に一番星近くて遠い小さな宝石
夕方にしぼれた花びらさびしさを朝まで待てば満開の花

一―一 佐々木 風花
一―二 大山 大翔
一―二 及川 菜月
一―二 千葉 心咲
二―一 平田 纏
二―二 工藤 瑚々
三―二 佐々木 陽菜
三―三 猪股 響生